

こもれびの丘のモミジ まもなく見頃

秋から冬へ…紅葉のフィナーレはここ！



こもれびの丘 (2025年12月7日撮影)

国営昭和記念公園（立川市・昭島市）では、最後の秋を堪能できるエリア「こもれびの丘」北斜面のモミジが色づきはじめました。ここでは先に色づきはじめたコナラやクヌギなどの高い木々の葉が落ちたことで林の中がだいぶ明るくなりました。今後、背の低いモミジなどにも日差しが届き、昼夜の寒暖差によって紅葉が色濃く進みます。紅葉のフィナーレを飾る‘こもれびの丘’についてぜひ取材・記事掲載のほどよろしくお願ひいたします。



展望台付近から撮影



こもれびの家



展示風景

立川で一番高い丘

標高約125m、標高差約30m。もともと平坦だったこの場所は、米軍撤去時のガレキや多摩ニュータウン等の建設残土で造成し、武蔵野の森を再現しました。花の丘頂上にある展望台から富士山が見えます。

こもれびの家

こもれびの家では、こもれびの丘の成り立ちを学べるパネル展示のほか、四季折々表情の違う景色を写真で紹介。また、種について詳しい説明もあるので、自然についての理解が深まります。今見られる野草についてのご案内もしています。

ボランティア活動

こもれびの丘ボランティアによる植物調査や下草刈り、落ち葉かきを行うなどの丁寧な管理のもと、美しい雑木林を維持しています。林床には約180種の山野草が季節に応じて開花するので、年間を通してお楽しみいただけます。